

【注】「電子(を)吸引(性・力)」→「電子(を)求引(性・力)」は、どちらの表記も存在しますが後者がより適切と判断して修正しました。数が多いので正誤表には入れていません。

| ページ | 問題番号など | 訂正行 | 訂正前(誤) | 訂正後(正) |
|-----|---------------|------------|--|--|
| 表紙裏 | 元素の周期表 | オスミウムOsの密度 | 22.57 | 22.59 |
| 表紙裏 | 元素の周期表 | イリジウムIrの密度 | 22.61 | 22.56 |
| 99 | 5 | 4行目 | 1個ずつ教えること | 1個ずつ数えること |
| 200 | 1 詳説3 | 1~2行目 | 分散媒には気体、液体、固体のものが存在するが、分散質には液体と固体のものしか存在しない。 | 分散媒が気体で分散質が気体のコロイドは存在しない。 |
| 219 | 5 補足11 | 7行目 | やや小さな値となる。 | やや大きな値となる。 |
| 219 | 5 参考 | 3行目 | 56.5kJ/mol | -56.5kJ/mol |
| 330 | 15 □1 | 3, 5行目 | NaCO ₃ | Na ₂ CO ₃ |
| 357 | 3 例題 [解] | 最後の反応式 | → Cu(NO ₃) ₂ | → 3Cu(NO ₃) ₂ |
| 380 | [Science Box] | 表の右上 | -は発熱, -は吸熱を示す。 | -は発熱, +は吸熱を示す。 |
| 670 | [Science Box] | 左段15~16行目 | 脂肪酸の分解も-COOHのβ位の炭素から、アセチルCoAとして切り取られていく。 | 脂肪酸の分解は、α位とβ位の間の結合が切れ、アセチルCoAの形で順番に切り取られていく。 |
| 670 | [Science Box] | 左段18行目 | 〈構造式上部の数字に対応する下部のギリシャ文字〉1-α 2-β 3-γ 4-δ 5-ε | 1-〈削除〉 2-α 3-β 4-γ 5-δ |
| 688 | 5 | 1行目の反応式 | 安息香酸(沸点123°C) | 安息香酸(融点123°C) |

<</>で囲まれた部分は以下のような文字です

下線 <u>□</u>

イタリック <i>□</i>

太字 □

上付き [□]

下付き _□